

フィールド5 教育文化

次に、フィールド5 教育文化について、申し上げます。

まず、**学習活動の充実**についてでございます。

生涯学習機会の内容充実につきましては、生涯学習のまちづくりの推進を図るため、大学、高専等の高等教育機関と連携し、生涯学習センター等の学習プログラムの充実を図ってまいります。

生涯学習関連施設・機能の充実につきましては、金栄小学校及び金子小学校の運動場照明設備を更新いたします。また、角野公民館の耐震補強工事及びトイレの改修・新設を行うほか、調理室のエアコン設置につきましても順次取り組んでまいります。

図書館機能の充実につきましては、市民の自主性、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会の提供、ロビー展などの図書館行事の充実、移動図書館の運営、ブックスタート実施事業等により他の関係機関とも連携しながら利用促進を図ってまいります。

次に、**地域づくりの推進**についてでございます。

地域課題を解決する住民活動の推進につきましては、公民館・交流センターにおいて、今後も地域住民の主体性を尊重した活動を推進するとともに、各校区の地域課題の実態を踏まえ、解決に向けて、地域教育力向上プロジェクト推進事業を実施し、社会・地域の要請に応える、役に立つ社会教育事業を推進してまいります。

郷土愛を育むための活動の推進につきましては、多喜浜塩田等の地域資源を学ぶ学習機会を提供するほか、子どもたちに様々な体験活動を提供する「こども夢未来事業」を推進してまいります。

次に、**家庭、地域の教育力の向上**についてでございます。

学社融合の推進につきましては、学校支援地域本部事業の定着を図り、地域で子どもたちを育てるとともに、子ども見守り隊の一層の活動充実を図ってまいります。

青少年健全育成の推進につきましては、子どもの安全な居場所づくり及び様々な体験活動の推進により、地域ぐるみで子どもたちの健全な育成に取り組む体制づくりに努めてまいります。

次に、**学校教育の充実**についてでございます。

地域に開かれた特色ある学校づくりにつきましては、「学校へ行こう日（デ

イ)」、「持続可能な開発のための教育推進事業」、「にいほまスクールエコ運動」等を実施し、学校・家庭・地域が連携して特色ある学校づくりに努めてまいります。また、別子中学校につきましては、生徒の学力向上や、地域の活性化と結びつけた魅力ある学校づくりを推進するため、少人数制による英語と理数教育に特化した学習カリキュラム等を実施する「別子中学校学び創生事業」に新たに取り組んでまいります。

社会変化に対応した多様な教育の推進につきましては、児童生徒の基礎的な学力の向上と定着を図るため、標準学力検査を実施し、客観的な学力の把握・検証を行い、指導方法の改善に役立ててまいります。

また、小中学校に派遣するALTを大幅に増員する等により、生きた英語教育の推進を図り、国際理解教育の充実と英語力の向上に努めてまいります。

さらに、別子銅山の近代化産業遺産について、体験活動を通して地域の発展に尽くした先人の功績を学ぶことにより、地域社会に対する誇りと愛情を育てるため、ふるさと学習に取り組んでまいります。

児童・生徒の健全育成につきましては、不登校、問題行動等の未然防止と早期対応のために、あすなる教室での活動のほか、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連携を深めるとともに、スクールカウンセラー、ハートなんでも相談員の拡充を図り、相談活動の充実に努めてまいります。

また、学級生活の満足度や意欲についてのアンケート（Q-U）を実施し、いじめや不登校などの問題行動等の未然防止と学級経営改善に役立ててまいります。

さらに、児童の学習習慣の定着と学力向上を目指して開設している「放課後まなび塾」については、条件整備が整った学校へ拡充を図り、放課後、児童が自主的に行う学習をサポートしてまいります。

教育施設・教育環境の整備充実につきましては、引き続き、屋内運動場等の非構造部材耐震対策事業及び、泉川小学校南棟校舎の大規模改修工事を実施いたしますとともに、ICT機器の整備を計画的に実施いたします。なお、大生院小学校プール改築工事につきましては、国の事業採択がございましたら、事業実施に向け取り組んでまいります。

また、学校給食の安全・安心を確保するため、給食施設の適正な維持管理を図るとともに、「学校給食衛生管理基準」に適合した施設に移行するための準備を進めてまいります。さらに、多子世帯の経済的負担を緩和するため、新た

に市内の小中学校に3人以上の児童生徒が在籍している所得の低い世帯に対し、第3子以降の学校給食費の無償化を実施してまいります。

また、学校図書館の蔵書の拡充や新聞の配備を行い、調べ学習や図書資料を使った探究的学習ができる環境づくりを行うなど、学校図書館機能の一層の充実を図ってまいります。

幼児教育の推進につきましては、幼稚園の園児保護者の経済的負担の軽減を図るため、就園奨励事業を継続してまいります。

次に、**特別支援教育の充実**についてでございます。

早期からの教育相談・支援の充実につきましては、「こども発達支援センター」を特別支援教育、発達支援の中核的機関とし、個別相談、幼稚園・保育園・小中学校などへの巡回相談、就学相談など地域における総合相談支援体制を充実させてまいります。また、子ども一人ひとりの教育的ニーズに対応した個別の支援計画の作成、効果的な活用により、関係機関との連携を強化しながら、将来を見据えた支援を行ってまいります。

特別支援教育の充実・体制の整備につきましては、肢体不自由などの障がいのある幼児・児童・生徒が、就園・就学するにあたり、安全の確保など学校生活に支障をきたさないように、学校生活介助員を適正に配置して受入体制の環境整備を図るとともに、支援の必要な児童の学習支援や学級運営の安定化を図るために、小学校に学校支援員を派遣してまいります。

地域生活における自立に向けた支援体制の整備につきましては、新居浜特別支援学校の分校として肢体不自由のある小・中学部、高等部の児童生徒を対象とした新居浜特別支援学校川西分校が開校いたしましたことから、これまで以上に共生社会の形成に向けた障がいの有無にかかわらず、可能な限り共に学ぶ仕組み（インクルーシブ教育システム）の推進を図るとともに、特別支援学校のセンター的機能の活用を行ってまいります。

次に、**芸術文化の振興**についてでございます。

芸術文化活動の推進につきましては、昨年7月に開館したあかがねミュージアムにおいて、開館1周年を記念いたしまして、「（仮称）大アンデス文明展～東洋のマチュピチュの麓にて」等の展覧会や、鴻上尚史氏主宰の「虚構の劇団」公演など、優れた芸術作品等を鑑賞できる文化事業を開催いたします。また、プロの芸術家や地域の演奏家を学校などに派遣し、芸術文化を体験できる諸行事を開催してまいります。さらに、本年4月17日には、市民文化センター

におきまして、ゲストに本市出身の水樹奈々さんをお迎えし「NHKのど自慢」の公開生放送を行います。

芸術文化施設の整備・充実につきましては、総合文化施設、市民文化センターの必要な施設整備を実施し、利用者が安全・快適に利用できる環境づくりに努めてまいります。

また、郷土美術館で所蔵していた郷土資料につきましては、新たに市民文化センター内での展示活用を進めてまいります。

次に、スポーツの振興と競技力の向上についてでございます。

社会体育の推進につきましては、健康増進と地域の連帯感の醸成、子どもたちの健全育成を図るため、地域スポーツ育成事業に取り組むなど、いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めてまいります。

競技スポーツの振興につきましては、平成29年度のえひめ国体に向けて、新居浜市で開催される4競技についてリハーサル大会を開催するとともに、庁内実施本部を設置し、市民の皆様方と組織する実行委員会と連携して大会を運営してまいります。また、多くの本市選手が活躍できるよう競技力向上を図ってまいります。あわせて、愛媛県立新居浜東高等学校に、健康・スポーツコースが新設されますことから、専門競技の高度な運動技能を有する中学生の進路選択の実現と、地域スポーツを支える優秀な指導者の育成を図るため、積極的に支援してまいります。

施設環境の整備につきましては、東雲市民プールに幼児用プールを新設するほか、体育施設の改修・修繕を計画的に実施し、市民が安全・快適に利用できるよう努めてまいります。また、えひめ国体に向け、選手の皆様が安全かつ快適に競技できるよう、市営サッカー場アップ場の整備を進めてまいります。

次に、近代化産業遺産の保存・活用の充実についてでございます。

別子銅山の近代化に携わった人々に学び、次世代へ伝承・発信を促進につきましては、本市の礎を築き、産業の近代化に大きな役割を果たした別子銅山を題材とした小説を出版するとともに、山田社宅における企画展、広瀬歴史記念館における特別企画展の開催を通じ情報発信を図るほか、市民を対象とした「自然散歩事業」、高校生を対象とした「別子銅山産業遺産創造塾」を開催し次世代への伝承を行います。

別子銅山近代化産業遺産の保存・整備の推進につきましては、旧広瀬家住宅内庭の整備を行い、庭園のもつ文化財的価値を高めるとともに、重要文化財旧

広瀬家住宅のPRと保存活用に努めてまいります。また、旧端出場水力発電所の文化財としての保存活用計画を策定します。